



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ジーダット

コード番号 3841 URL <http://www.jedat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 河内 一往

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 田口 康弘

TEL 03-5847-0312

四半期報告書提出予定日 平成28年8月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第1四半期 | 351 | — | △6 | — | △12 | — | △23 | — |
| 28年3月期第1四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円銭 | 円銭 |
| 29年3月期第1四半期 | △12.16 | — |
| 28年3月期第1四半期 | — | — |

(注)平成28年3月期第1四半期は連結業績を開示しておりましたが、当第1四半期より非連結での業績を開示しております。
そのため、平成28年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。
個別業績の前年同四半期との比較は、添付資料P.7「4.補足情報」に記載しておりますので、ご参照ください。

(2) 財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|-------|---|-------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第1四半期 | 3,176 | — | 2,488 | — | 78.3 | — |
| 28年3月期 | 2,870 | — | 2,540 | — | 88.4 | — |

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 2,487百万円 28年3月期 2,539百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | 15.00 | 15.00 |
| 29年3月期 | — | — | — | — | — |
| 29年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 15.00 | 15.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|------|------|-------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 第2四半期(累計) | 864 | 15.2 | 70 | 95.5 | 70 | 104.9 | 53 | 17.7 | 28.05 |
| 通期 | 1,750 | 12.8 | 160 | 28.1 | 160 | 29.1 | 126 | 15.3 | 65.63 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 29年3月期1Q | 1,950,000 株 | 28年3月期 | 1,950,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年3月期1Q | 30,049 株 | 28年3月期 | 30,049 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 29年3月期1Q | 1,919,951 株 | 28年3月期1Q | 1,919,951 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、連結子会社であった愛績爰(上海)信息科技有限公司の全株式を譲渡したことにより、当第1四半期累計期間より四半期財務諸表を作成しています。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| 4. 補足情報 | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における、当社の主要顧客である半導体およびFPD (Flat Panel Display) 等の国内電子部品業界は、国内景気が回復基調から横ばい基調に変調する中、新興国の景気低迷や円高等の影響により、業績が横ばいから減少傾向に移行し始めました。以前から好調を継続している分野においては、自動車関連は辛うじて好調を維持しておりますが、スマートフォン等の携帯機器関連は、需要縮小の影響を受けて採算面で厳しい状況に移ろうとしております。加えて主要企業間の再編は現在も実施中であり、先行き不透明感はますます深まりつつあります。

こういった状況の中、当社は国内において、自動車関連や携帯機器関連等の分野以外へ営業活動領域を拡大するとともに、強力な代理販売製品の重点販売を実施する等、新顧客および新需要の創出活動を積極的に展開いたしました。半導体設計受託サービスにおいては、国内の設計委託需要が好調な中、売上拡大に向けて熊本事業所の設計者を更に増強いたしました。またEDAアウトソーシング事業においては、社内外のリソースを駆使した提案活動を精力的に実施しました。海外においては、国際的な学会・展示会で最新機能の新製品を発表するとともに、今期に入り販売力の低下が顕著になった一部代理店構成の再建を開始いたしました。

これらの活動の結果、当第1四半期累計期間における売上高は、海外向け売上高が低迷した影響を受けて、3億51百万円となり、営業損失は6百万円、経常損失は為替差損を計上した結果12百万円となりました。また四半期純損失は繰延税金資産を取り崩した結果23百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前事業年度末と比較して3億5百万円(10.7%)増加し31億76百万円となりました。内訳として流動資産は3億12百万円(12.0%)増加し29億10百万円、固定資産は6百万円(2.6%)減少し2億66百万円となりました。流動資産が増加した主な要因は、受取手形及び売掛金が86百万円(40.7%)減少し1億26百万円となった一方で、現金及び預金が2億47百万円(12.7%)増加し22億円となったほか、電子記録債権が1億27百万円(574.4%)増加し1億49百万円となったことによるものであります。

流動負債は、前事業年度末と比較して3億57百万円(108.3%)増加し6億88百万円となりました。流動負債が増加した主な要因は、賞与引当金が41百万円(47.8%)減少し45百万円になった一方で、前受金が3億64百万円(263.8%)増加し5億3百万円となったことによるものであります。

純資産は、前事業年度末と比較して52百万円(2.1%)減少し24億88百万円となりました。純資産が減少した要因は、利益剰余金の減少52百万円によるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末の88.4%から78.3%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表しました平成29年3月期の業績予想からの変更はありません。なお当資料に記載の業績見通しについては、現在入手している情報に基づいた見通しであり、当社企業の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向等により、実際の業績がこれら業績見通しと大きく異なる場合がありますことをご承知おき願います。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期累計期間において、四半期財務諸表への影響額はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,952,460 | 2,200,296 |
| 受取手形及び売掛金 | 212,518 | 126,033 |
| 電子記録債権 | 22,194 | 149,679 |
| 有価証券 | 300,000 | 300,000 |
| 商品 | - | 215 |
| 仕掛品 | - | 10,673 |
| 原材料 | 3,594 | 5,486 |
| 繰延税金資産 | 24,411 | 14,776 |
| その他 | 82,047 | 102,910 |
| 流動資産合計 | 2,597,226 | 2,910,072 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 17,311 | 16,380 |
| 無形固定資産 | 15,895 | 14,515 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 222,139 | 217,723 |
| その他 | 18,267 | 18,004 |
| 投資その他の資産合計 | 240,407 | 235,728 |
| 固定資産合計 | 273,613 | 266,624 |
| 資産合計 | 2,870,840 | 3,176,696 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 27,373 | 37,343 |
| 未払法人税等 | 8,096 | 4,914 |
| 賞与引当金 | 86,144 | 45,009 |
| 前受金 | 138,359 | 503,322 |
| その他 | 70,531 | 97,911 |
| 流動負債合計 | 330,504 | 688,501 |
| 負債合計 | 330,504 | 688,501 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 760,007 | 760,007 |
| 資本剰余金 | 890,558 | 890,558 |
| 利益剰余金 | 921,397 | 869,256 |
| 自己株式 | △32,742 | △32,742 |
| 株主資本合計 | 2,539,219 | 2,487,078 |
| 新株予約権 | 1,116 | 1,116 |
| 純資産合計 | 2,540,335 | 2,488,194 |
| 負債純資産合計 | 2,870,840 | 3,176,696 |

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

| | 当第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|--------------|---|
| 売上高 | 351,052 |
| 売上原価 | 111,983 |
| 売上総利益 | 239,068 |
| 販売費及び一般管理費 | 245,490 |
| 営業損失(△) | △6,421 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 1,931 |
| その他 | 10 |
| 営業外収益合計 | 1,941 |
| 営業外費用 | |
| 為替差損 | 5,009 |
| 投資事業組合運用損 | 2,740 |
| 営業外費用合計 | 7,750 |
| 経常損失(△) | △12,231 |
| 税引前四半期純損失(△) | △12,231 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,474 |
| 法人税等調整額 | 9,635 |
| 法人税等合計 | 11,110 |
| 四半期純損失(△) | △23,341 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

個別業績

経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第1四半期 | 351 | 0.4 | △6 | — | △12 | — | △23 | — |
| 28年3月期第1四半期 | 349 | △1.2 | △4 | — | △4 | — | △17 | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期第1四半期 | △12.16 | — |
| 28年3月期第1四半期 | △9.30 | — |